



# 福岡市育成会だより

第170号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-9 福岡市市民福祉プラザ4階  
TEL. 092-713-1480

この会報は、  
共同募金の配分を  
受けて作成した  
ものです。



ありがとうございました

## 令和2年度の事業報告と新型コロナウイルスについて

福岡市手をつなぐ育成会

理事長 花田敏秀

今号は例年、前年度の事業報告をすることになっていますが、何と云ってもまず新型コロナウイルスの話をしなければなりません。

新型コロナウイルスの感染拡大は断続的に続いていまして、未だ収束のめどが立っておりませんが6月より予防接種が始まり、65歳以上の人や基礎疾患のある人には接種の予約案内が来るようになりました。また、当法人でも入所施設はかかりつけ医のところに出向いて65歳以上の人や職員への接種ができるようになりました。予防接種がやると軌道に乗り出しましたのでもう少しの辛抱だと思えます。これでコロナが収束に向かうことを祈るばかりです。今号に大阪市手をつなぐ育成会が作成された「新型コロナウイルス接種(注射)をする前に知っておきたいこと」を掲載してありますのでご覧いただけたらと思います。

当法人では、行政指導の下でできるだけ密を避けたりマスクを着用する、検温、換気に気を付ける、手指消毒の励行等のコロナ対応に努めました。今のところ、育成会の関係者でコロナに罹患したとの報告は受けていません。今

後もコロナの予防対策は十分にとつていきたいと思っています。

さてコロナが障がい者に及ぼしたものと云えば何と云っても「障がい者が街から忽然と消えてしまった」ということではないでしょうか、感染すれば重症化するリスクを抱える障がい者が外出を控えたこと、通所サービスの利用が制限されたこと、マスク着用が難しい知的障がい者への冷たい視線、こうしたことが障がい者が外に出にくい環境を作っています。

「障がい者が社会で当たり前に生活する」社会参加を求めて進めてきた我々の活動が後戻りした感があります。生活が制限され、当たり前の日常が奪われたのは国民すべてだと思いますが、そのダメージは障がい者により深刻です。アフターコロナはこれまでの政策動向を後退させない。まずこのことの確認から始めなければならぬと思っています。

コロナの話ばかりになりましたが、事業報告につきましては詳しくはそれぞれの事業所の報告に委ねて、ざっくりとしたところで申し上げますと令和2年度の障がい福祉サービス事業の事

業活動収支は若干の収入減と支出減で法人全体では例年と変わらない事業運営ができました。コロナ禍の中、職員を始め、保護者、育成会の皆さんの協力のたまものと感謝申し上げます。また昨年度から取り組んでいます里の移転問題は今のところ予定通り進んでいます。しかしながら、就労系の事業所は出向いての販売活動の制限により利用者の皆さんの工賃に大きな影響がありました。バザー等の販売活動に頼りがちな就労事業所のあり方が問われていると思っております。また、居住系の事業所は外出の制限によりストレスフルな状態がなかなか改善できずに経過しました。単調になりがちな、外出ができない生活をいかに屋内でもアクティブに過ごすことができるか、職員の皆さんに知恵を絞っていただきましたが、利用者の高齢化が進む中、アフターコロナにおいても解決すべき課題が残ったと思っています。今年をいろいろな課題を克服する緒となる一年とすべく取り組んで参ります。皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。



## 各施設の「昨年度の振り返り」

### 福岡ひまわりの里

施設長 石井 美紀

福岡ひまわりの里では、現在男性利用者31名、女性利用者16名の計47名の利用者が入所されています。また、50歳以上の利用者が半数を超えました。

健康面に配慮した支援では、加齢に伴う体力の低下や、身体状態の変化、嚥下・咀嚼機能の低下など、今まで以上にきめ細かい支援が必要になっています。また、誤嚥性肺炎や体調の変化からの重篤化の恐れなど、より一層医療機関との連携の必要性が求められています。支援員・看護職員が連携し、早期発見・早期治療を最優先に安全面を優先した支援に取り組んでいきます。また、昨年度から全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスから全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、感染拡大防止に向けた取り組みも引き続き強化していきます。現在、65歳以上の利用者につきましては新型コロナウイルスの接種を行っております。また、職員に關しても優先接種枠にて接種を進めております。64歳以下の利用者につきましてはかかりつけ医のご協力のもと調整を行っているところです。利用者がワクチンを打ち終わるまで数か月の差がありますが、引き続き感染予防対策をしっかりとりながら支援にあたりたいと思います。

生活支援では、利用者個々に合わせた支援を個別支援計画に沿って行っていきます。食事については、利用者一人ひとりの栄養、活動状況、健康状態に着目し利用者に合った食事形態で提供しています。誤嚥の危険性が高くなった利用者を中心に、食事前に行く口腔ケア体操等も取り入れな

が、個々の利用者にあつた支援や配慮を行っています。口腔ケアについては研修を通して職員の意識付け、介護技術の向上にも努めていきます。

日中活動については、年齢や障がい特性等も考慮し、自立作業班・館内活動班・健康維持班を実施しています。今は密を避けた環境づくりから男女別で活動を行い感染防止に努めています。

余暇支援等については、利用者のニーズや個別支援計画に沿って計画していますが、昨年度は新型コロナウイルスの影響でクラブ活動や音楽療法等外部講師の来訪やグループ外出の実施が難しい状況でした。島内のドライブや散歩などを取り入れ、気分転換ができる機会提供に努めました。また、各行事につきましては昨年度中止になったものが多く、代替行事として館内で楽しめる企画を利用者と一緒に考え実施してきました。今後も利用者の意見を取り入れながら、利用者として作り上げる行事を企画していきます。



### ひまわり園

施設長 水城淳一郎

令和2年度のひまわり園は、新型コロナウイルス感染防止の取り組みや、緊急事態宣言への対応等で、利用時間の短縮、全体会の中止、行事や販売活動の中止・延期・代替プログラムへの変更など、十分な運営ができない面も多々ありましたが、利用者、保護者、関係機関の協力もあり、新型コロナウイルス感染者はでませんでした。しかしながら、日々感染リスクに直面する事業で、メンタルヘルスの面では利用者、職員ともつらかった年度になったと思います。

その影響もあり、販売活動がほぼ中止状態でのB型事業の販売活動につきましては、売上は約50パーセント減となり、カフェ・サンフラワーにつきましては、休業や時間短縮など厳しい状況でした。

利用者支援につきましては、日々の健康チェック、消毒やマスク着用への支援、活動場面の分散や時間差など、感染防止に努めながら、利用者の強みを生かした支援(ストレングスの視点)を重視した実践に努めました。利用者のみなさんは、今までと大きく変わった生活様式に戸惑いや不安を感じているようでしたが、感染防止の取り組みを意識しながらの生活も、定着したように感じます。

ワクチン接種も始まり、これからコロナウイルスが収束に向かっていくことを願うばかりです。今後も引き続き感染防止対策を行いながら、利用者みなさんのニーズに沿った支援が実施できるよう取り組んでいきます。

併設する、居宅介護事業所ライフサポートをつなぐにつきましては、コロナ禍による外出自粛等の影響もあり、ヘルパーの利用自体を中止する方などが多くありましたが、新規の利用契約もありました。利用者支援に關しましては、マスク着用、訪問前のアルコールによる手指消毒の徹底等の感染対策を十分した上で、支援を実施しています。その方に合った支援に取り組んだことで、自分ができることが増えるなど、ステップアップにつながったように思います。今後も、事業所との連携を行い、よりニーズに沿った支援ができるよう取り組みたいと思っています。

### ひまわりパーク六本松

施設長 今林 映一

昨年度は新型コロナウイルス感染防止の關係で、販売、余暇活動など事業所の活動全般に大き

な影響がありました。昨年度の主な活動を報告します。

○B型事業(工賃向上を目指す活動)

コロナ禍で販売会の中止が相次ぎ、例年に比べ平均工賃が予想以上に下がる結果となりました。今後はインターネットによる販売を強化する必要があります。在宅ワークは皆さん初めてでしたが、絵を描くなどのアートを中心に現在も継続しています。また描いた絵を事業所内に展示するほかフェイスブックで紹介し成果を確認しています。封入・封かん作業にも取り組みましたが、利用者のスキルが上がり定期的な作業のほかガス会社からの大量の作業も予定どおりに納品することができました。初めての作業へも意欲的に取り組んでいます。

○健康支援

毎朝、健康状態の確認を行っています。また毎月、体重・血圧測定を行い、保護者と情報共有を行い、生活習慣病などの予防に努めています。このほかよかドック健診、レントゲン検診に同行しました。

○防災等の安全対策

定期的な避難訓練(火災、水害想定)を実施し、事業所内に避難経路を掲示するなど日頃から防災意識を高めています。

○その他

職員研修、実習生の受け入れ、地域行事への参加などはコロナ禍のため、当初の計画どおりに実施できず残念な状況が続きました。

本年度も感染防止対策は求められますが、ワクチン接種が加速化することで収束への一歩かと期待しています。市は64歳以下の市民へワクチン接種券を発送しています。当事業所は接種を希望される方が速やかに接種できるように情報提供を行いたいと思います。

終わりに、事業所は本年度開所10年目を迎え、秋には中央区桜坂へ移転予定です。移転先は広

く、感染防止対策を行い充実した活動が可能になると期待します。今後も安心して活動ができる事業所を目指し取り組みまいります。ご支援よろしくお願い申し上げます。

### ひまわりパーク上牟田

施設長 吉富 孝史

昨年度から続いている新型コロナウイルス対策については事業の時間短縮に始まり送迎方法の対応等、事業所としての選択がより良い判断なのかを問われた年であり、ご家庭への協力を幾度となくお願いさせて頂いた年でもありました。実際にPCR検査を受検された方は数名いらっしゃいましたが結果として陽性者等はありませんでした。

当たり前のことですが、特に比重を置いたのは利用者の皆さん、及び職員のストレス軽減への環境作りでした。

感染防止の為にマスク着用等、各種方法への対応は必然ですが、そのことによるストレスを感じる方がいることも事実です。

楽しくリラククスできる音楽をベースに明るい話題提供を行うことや体を動かすこと等、事業所でできることには限りがありますが、少しでも鬱屈しない環境作りに努めています。

また、当事業所では「綿密かつ緻密に個人情報保護は秘密に」という良い3密支援を掲げ、心身の状況確認や困りごと等を意識した対話を密に行うようにしています。

今現在始まっているワクチンの接種に関することについてもご要望に応じ、申し込み方法や会場、当日の流れ等の説明を個別に行っています。

事業に関してはやはり就労継続支援事業A型及びB型の収入は70%程に落ち込みました。

今年度は福岡市の「ときめきグッズ受注、発注コーディネート事業」等も含め、新たな作業開始

を今まで以上に実施していこうと思っています。

この事業は様々な企業が「福祉事業所へ仕事を依頼したい。でもどこへ」という時に受注・発注のコーディネートを行うことでミスマッチの解消と販売促進を図る事業です。当事業所でも積極的に受注へと繋げていけたらと思っています。

生活介護事業は、昨年より新規利用者を含め定員を満たす利用者数となりました。今後も外出などのリフレッシュを含め活動内容の拡がりや充実化をしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回のコロナ禍の様々なことについては決して一人では成しえなかったことを皆の力で乗り切る力を養い培っていったものと実感しています。今後も、自己存在意識や自己肯定感、自主性を今後も尊重し、更なる社会参加や自己実現の促進に努め、日常の不安を一つでも軽減する支援に努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。

### 早良ひまわりハウス

施設長 竹内 巖

令和2年度は、マスク不足、消毒液不足等、資材不足に右往左往で始まったと記憶しています。

障がい者施設でもクラスターが発生し、危機感が募るばかりでした。そのような中、国や県、市から感染防止対策用品を支給していただき、徐々に体制を整えていきました。到着した時は、利用者、職員とても有難い思いでいたことを覚えています。

年間を通して発熱された方が複数いらっしゃいました。発熱は急に起こるため、その対応に迅速性や多岐に渡る配慮事項があり、関係機関には多大なご協力をいただき大変感謝しております。

幸いなことに感染された方はいらっしゃいませんでしたが、新型コロナウイルスの悪化が見られた方や、入院にいたる方もいらっしゃり、加齢に伴う様々な体調の変化が顕著になってきたとも感

じています。地域で生きていくことは、様々な人々に支えられ、多くのインフラを利用し、様々なリスクも含めて成り立つものであると改めて気づかせてもらいました。

ショートステイは、3密回避の為にやむなくお断りせざるを得ませんでした。『令和2年度より新規に利用したい』という声や、『令和元年度よりも利用日数を増やしたい』という要望も頂いていましたので、どのような思いでおられるか、ご家族の方々はどうなさっているか、想像以上であったと思います。

地域との交流においては、夏祭りが中止になる等、その機会が希薄になってしまい、これからまた少しずつ積み重ねていく必要があると感じています。

そして、そのような中でも自然災害は待つてくれませんでした。台風10号接近時、慌てて養生テープを買いに走りましたが、駐車場に近寄れない程の大渋滞が起こっていました。日頃の備え、心構えの大きさを昨年度も痛感しました。

ワクチン接種がスピードアップしている現在、今後どのように状況が変化していくかまだ見通せませんが、令和2年度に得たことを糧に取り組んでいきたいと考えております。

### 早良区第2障がい者相談支援センター

センター長 福田 江梨

今年度からセンター長として就任いたしました。福岡市早良区第2障がい者基幹相談支援センターの福田江梨と申します。

当センターでは新人職員を迎え、気持ちも新たに業務に取り組んでおります。

令和2年度はまさにコロナに影響された一年でした。マスクが日常的になり、「両手を伸ばしても届かない距離」を保つよう求められる世の中になりました。

当センターでも時代の流れを受け感染対策を行っておりますが、形通りの感染対策では上手くいかない場合もありました。

例えば聴覚障がいの方には、「口話」といって、口元の動きを観察することで単語を読み取るコミュニケーション技術がありますが、マスクのせいで相手が何と言っているのか分かりにくくなります。小売店などの窓口でトラブルになる時は、フェイスシールドを準備し、間に入って話を取り持つこともありました。改めて聴覚情報の大切さを実感しました。

また、「コロナうつ」「コロナ不安症」に関するご相談も増えていきます。

「外に出ることが怖い。代わりに買い物に行つてほしい」「家に人を入れるのは怖いから、外で話をしてほしい」「外に出るのが怖いので、家に訪ねてきてほしい」といった内容です。

最近では「子どもの不登校」など、コロナ不安をきっかけとした二次的な相談も増えていきます。

自宅待機で同年代の友人と関わる機会が減つたため、気持ちがふさいでしまい、登校再開したものの学校に戻れない。

自宅学習が上手いはず、他の児童との学力差がついてしまい勉強についていけなくなった。

家族と関わる時間は増えたものの、家族自身がレスパイトを図る機会も減ってしまい、家庭の中がぎくしゃくしてしまう。

といった相談がありました。

そうした対応策として、日中に放課後等デイサービスを利用して本人の特性に合わせた個別対応をして、短期入所を使って家族との距離を置くこともあります。こうした不登校児に関する障がい福祉サービス利用が増えているのは、児童福祉分野の中に障がい福祉サービスが浸透してきた結果ともいえます。しかし、対応できる事業所が限られていることも課題といえます。

新人職員紹介

福岡ひまわり園



柳原憲文 生活支援員

この度、縁あって福岡ひまわりの里にお世話になります。月並みですが、分からないことばかりで至らないところもあるかと思えます。年齢も高めではありますが、一日でも早く利用者さんのことを理解できるように頑張っています。今後ともよろしくお願いいたします。



梅津 裕 生活支援員

福祉の仕事に興味を持ったきっかけはボランティア活動でいろいろな障がいを持った人と関わり、僕も支援員として働きたいと思ったからです。今はまだ働いて間もないですが、福祉の仕事ですと働いていきたいと思っています。職場ではまだまだ不安だらけですが、お役に立てるように頑張ります。利用者の方ともいろんな活動で関わり合い、理解していきたいと思っています。よろしくお願いします。

ひまわり園



島 直哉 生活介護 手芸班

現場での支援の在り方や考え方について日々学び、利用者様がより豊かな毎日を過ごせるよう支援員として成長していきたいです。若輩者で色々ご迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願い致します。



田代優音 就労支援 製菓班 福祉医療専門学校 福岡校 出身

利用者様ひとりひとりの時間を大切にしながら、よりよい支援が行えるよう頑張りますが、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけするかもしれません。一生懸命頑張りますのでこれから宜しくお願い致します。



松尾有真 生活介護 陶芸班 留米大学 社会福祉学科 出身

誰にでも寄り添うことのできる支援員として、利用者様との時間を大切に、楽しく過ごすごことです。また陶芸班としても、利用者様と一緒に芸術的な陶芸作品を仕上げたいです。支援員として未熟者ですが、よりよい支援ができるよう日々頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



甲木小夜子 カフェ・サンフラワー フチガミ医療福祉専門学校 出身

今年には精神保健福祉士の資格取得を目指しています。そのためにもひまわり園で利用者さんや先輩職員の方々から、様々な知識を吸収し学びや経験に変えていきたいと考えています。未熟ではありますが、精一杯頑張ります。よろしく申し上げます。

ひまわりパーク六本松

山下七海 支援員

F・Cフチガミ医療福祉専門学校出身

昔から興味があった福祉の仕事に就くことができ、毎日楽しく働いています。声かけや叱咤の対応などわからないことだらけではありますが、職場の先輩方や利用者皆さんの助けられながら、利用者皆さんの楽しく過ごせるような支援ができるよう頑張っています。

三和田里佳 支援員

前職で障がいのある方と働く機会があり、福祉に関心を持ちました。

この度、ひまわりパーク六本松で、利用者皆さんと楽しく働く事ができ嬉しく思います。アイト支援を通じて、利用者皆さんの魅力を引き出すお手伝いをしたいと思います。

ひまわりパーク上牟田



松尾 望 生活支援員

私は利用者の方々ひとりひとりと向き合いその人の得意なこと、困っていることを理解し適切なサポートが行える支援員になりたいと思っています。そのために、いろいろなことに対して常に考えを巡らせていき、それぞれの得手や思いに沿ったサポートを組み立て実践していきます。力を身に付けていきたいと考えています。精一杯様々なことを吸収して参りたいと思いますのでよろしく申し上げます。



# 大阪市育成会で新型コロナワクチン接種について「わかりやすい版」で説明しています。

新型コロナのワクチン接種が各地で始まっています。

この新型コロナワクチン接種について、大阪市手をつなぐ育成会より、知的に障がいのある方に理解がしやすいように、ワクチン接種について「やさしい日本語」を利用して「わかりやすい版」で説明をしています。

各地でも事業所でワクチン接種に向けて準備を進められているかと思いますが、利用者の皆さんやご家族にも、ワクチン接種をする際に事前説明としてご活用されてはいかがでしょうか。

なお、この「わかりやすい版」資料は、大阪市手をつなぐ育成会のホームページよりダウンロードすることもできます。

【ダウンロード先URL】(Word形式)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp/vaccine2.docx>

新型コロナの ワクチン接種 (注射) をする前に 知っておいて 欲しいこと

新型コロナウィルス感染症という 人から入る 移る 病気は があります。

新型コロナウィルス感染症は、 ワクチン接種 (注射) をすると 病気になる にくいです。

注射をする前に この案内に 書いてあることを 見ておいてください。

注射をする時に、 気をつけることが 書いてあります。

新型コロナの ワクチン接種 (注射) が 箱あります

新型コロナウィルス感染症という 病気は、 ウイルス (病気を起こすバイキン) が 体の中に 入って あります。

体の中で ウイルス (病気を起こすバイキン) と 戦う 力を 強くなる ために ワクチン接種 (注射) があります。

ワクチン接種 (注射) を する時は、 かかりつけ医 (いつも行っている 病院の先生) に 相談 してください。

ワクチン接種 (注射) をするのにお金は ありません。

新型コロナの ワクチン接種 (注射) は 2回します

ワクチン接種 (注射) は 2回します。

同じ会社で作った 注射を 2回します。

①「ファイザー」という会社で 作った 注射をする時

1回目と 2回目は 3週間 あけます。

②「モデルナ」という会社で 作った 注射をする時

1回目と 2回目は 4週間 あけます。

気になる時は、 かかりつけ医 (いつも行っている 病院の先生) に 相談 してください。

ワクチン接種 (注射) が できない人

他の ワクチン接種 (注射) を した人は できません。

37.5度以上の熱がある人は できません。

病院の先生から ワクチン接種 (注射) は「ダメ」と言われた人。

ワクチン接種 (注射) を する時は、 かかりつけ医 (いつも行っている 病院の先生) に 相談 してください。

ワクチン接種 (注射) を する時に 注意が 必要な人

体の中にある 心臓や 腎臓や 肝臓に 病気がある人

免疫不全や 感染症 罹った 方が 体になく 病気がある人

重篤な 病気が 悪くなった人

他の 注射をして 体になく 悪くなった人

重篤な 病気が 悪くなった人

けいれん (てんかん) がある人

ぜんそく (せきが続く 病気) がある人

アトピー性皮膚炎 (かゆくなる 病気) がある人

注射をした後は 休めましょう

注射をしたあとに 15分 休んで 休みます。

体の具合が 悪くなった時は、 医師の人に 言ってください。

注射をした日に 気をつけること

注射をした日は、 熱に します。

注射をしたところが 痛くなる ことがあります。

腕が 痛くなる ことがあります。

腕が 出る ことがあります。

外は 暑くても、 冷たい 感じる ことがあります。

# 災害に備えて

福岡市手をつなぐ育成会保護者会  
会長 下山 いわ子

毎年、自然災害が各地で大きな爪痕を残しています。

私たちは、暮らしにも避難にも支援が必要です。備えのために情報を整理しました。参考になれば幸いです。

## 避難行動要支援者名簿

災害で避難する際、手助けが必要な人が福岡市に登録して、名簿(避難行動要支援者名簿)を予め作成し、避難のために活用します。(自治協議会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員に名簿を提供し、災害時に円滑な支援活動が行える体制づくり等に活用)

支援が必要な私たちは、登録しておきましょう。

※福岡市では、災害対策基本法の改正に伴い、これまでの「災害時要援護者台帳」を改め、平成29年度から「避難行動要支援者名簿」を作成しています。

## 名簿登録対象者

以下の要件に該当する人が同意のうえで申請します。

(1)行政保有情報に基づく名簿登録者

※福岡市から要件に該当した年に手続きに必要な書類が郵送されます。例えば、療育手帳BからAになった年に、福岡市から郵送されます。もし、その郵送された時に登録しなかった人には、概ね3年間隔くらいで郵送される予定ですが、不定期です。よって、郵送された年に申請しなかった場合は、郵送を待つより(1)の該当者も各自で区保健福祉センター窓口が配布している申請書で申し込んだ方が良いでしょう。

福岡市の災害時要援護者台帳に登録していた人

- 療育手帳A
- 身体障害者手帳1級又は2級(心臓、じん臓又は免疫機能障がいのみの人を除く)
- 精神障害者保健福祉手帳1級
- 要介護認定3以上

(2)自己申告による名簿登録者

- 個人が、区保健福祉センター窓口で配布している申請書でお申し込みください。
- 障がい支援区分1以上
- 療育手帳B

療育手帳B

- 身体障害者手帳(行政保有情報に基づく名簿登録者)の要件に該当する人を除く)
- 要介護認定(行政保有情報に基づく名簿登録者)の要件に該当する人を除く)
- 要支援認定
- 精神障害者保健福祉手帳2級又は3級
- 難病患者(指定難病)
- 65歳以上で身体虚弱

## 指定緊急避難場所・指定避難所

福岡市では、災害に備え、公民館や学校、公園等を指定緊急避難場所・指定避難所として指定しています。

日頃から避難場所・避難所の位置やその周辺の状況をハザードマップ等で確認し、災害種別に応じて安全な避難ができるように心がけましょう。

- 避難にあたって注意すること
- 避難所は、災害の状況等から、安全な施設を選んで開設されます。市が発表する避難情報に注意してください。
- 既に大雨で河川が氾濫している等の場合は、屋外へ出て避難しようとする、かえって危険な場合があります。外出することが難しい場合は、緊急避難として一定の安全が確保さ

れた屋内に留まる「屋内待避」も、一つの避難方法です。

(例)自宅周辺が浸水被害に遭い、屋外への避難は難しいが自宅に2階がある場合：2階に退避する など各自で判断

指定緊急避難場所・指定避難所は、災害の種類によって違う場所になることがあります。

## 福祉避難所は、二次避難所です

福祉避難所は、日常生活に介助や常時の見守りが必要なため、公民館など一次避難所での生活が困難な障がいのある方や高齢者などを受け入れるために開設する二次避難所です。

※災害発生時は、福祉避難所となる施設の被災やスタッフが参集できない状況も想定されるため、福祉避難所への避難については、災害発生時に福岡市が福祉避難所の被災状況や受け入れ可能人数等を把握し、福祉避難所への避難を必要とする方の受け入れ調整を行った上での避難になります。よって福祉避難所名の事前公表は行われません。

子ども福祉避難所  
(特別支援学校8校)

在籍の生徒や保護者の利用が可能です。ただし、大雨や台風など、ある程度予測できて、避難場所としての安全確認・確保の準備が整った場合は、一時避難場所として各学校判断で開設される場合があります。しかしながら、地震など予期せぬ災害では、学校も他施設と同様に、施設の安全確認や人員確保等、受け入れ可能か確認作業が必要となるため二次避難所と位置付けられ、受け入れ可能と福岡市や区が判断した場合に開設されます。

ハザードマップは  
どこで手に入るの？

洪水ハザードマップ、高潮ハザードマップ、揺れやすさマップは、情報プラザ(市役所1階)、区役所、防災・危機管理部で配布しています。在庫を電話で確認してお出かけください。  
土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップは、区役所、福岡市市民防災・危機管理部で印刷して渡してくれます。

総合ハザードマップで身の回りの  
情報を確認しましょう。

各種ハザードマップの情報を自由に組み合わせる一つにまとめて見ることが出来る「福岡市総合ハザードマップ」が公開されていますので、ご利用ください。

あなたのハザードマップも作れます。自由に情報を重ね合わせ、ご自身のためのハザードマップを作成できます。「福岡市総合ハザードマップ」  
[https://webmap.city.fukuoka.lg.jp/bousai/c\\_webmap.html](https://webmap.city.fukuoka.lg.jp/bousai/c_webmap.html) を検索すると、さまざまな情報を得ることが出来ます。

(1) 自宅周辺などの災害を想定できず。知りたい災害種別にチェックを入れると、画面に災害の想定が表示されます。

(2) 最寄りの避難所を確認したり、避難経路を調べることが出来ます。自宅の周辺や地域のどこに避難所があるのか、また避難経路を確認しましょう。

(3) あなたのハザードマップが作れます。自由に情報を重ね合わせ、ご自身のためのハザードマップが作成できます。地図上に絵を描いたり、さらに情報を重ね合わせて、独自のハザード

マップを作ることが出来ます。※配布を行う際には、背景地図毎の利用可能範囲を確認の上で、ご利用ください。また、画像左下の著作権表示は必ず表示した状態でご利用ください。

避難勧告が廃止され、  
避難指示に一本化されました

早めに命を守る行動をとりましょう。

レベル	状況	取るべき行動
5	命の危険 災害発生 または切迫	命を守る 最善の行動を
4	避難指示 災害の恐れ 高い	危険な場所から 全員避難
3	災害の恐れ あり	障がい者・ 高齢者等 避難
2	高潮注意報 気象状況 悪化	自らの避難行動
1	早期注意情報 今後気象状況 悪化の恐れあり	災害への 心構えを高める

情報を得るには

(1) テレビ、ラジオで情報収集

気象警報・注意報や土砂災害に関する情報は、テレビやラジオを通じて入

手することが出来ます。また、ニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送しています。

(2) 福岡市防災メール

福岡市は、防災に関する情報を携帯電話などに電子メールで提供する、「防災メール」の配信を行っています。

[fukuoka-city@sg-pn]へ空メール

を送信し、受信したメールから配信を希望する項目を設定してください。

(3) 福岡市LINE公式アカウント

福岡市は、LINEを活用した情報配信サービスを提供しています。

このサービスは、防災・ごみ出し・子育てなどの生活に密着した市政情報の中から、市民の方が必要に応じて選択した情報を、LINEを通じてタイムリーに届きます。希望する項目を設定してください。



何ともあれ、命を守る行動をとりましょう！

令和2年度 社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 決算報告

貸借対照表

令和3年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	592,741,128	流動負債	63,037,926
現金預金	474,191,099	固定負債	46,214,388
		負債の部合計	109,252,314
固定資産	667,324,606	流動資産の部	
基本財産	330,554,401	基本金	120,909,330
その他の固定資産	336,770,205	国庫補助金等特別積立金	130,938,776
		その他の積立金	282,440,231
		次期繰越活動増減差額	616,525,083
		純資産の部合計	1,150,813,420
資産の部合計	1,260,065,734	負債及び純資産の部合計	1,260,065,734



ありがとうございます。  
大切に使用させていただきます。

■早良ひまわりハウス

ひまわり園保護者会 様

西本 幸三 様

■ひまわり園

中馬 勝子 様

西本 幸三 様

■福岡ひまわりの里

ひまわり園保護者会 様

寄附・寄贈

(令和3年4月～6月)

全国手をつなぐ育成会連合会発行  
情報・交流誌「手をつなぐ」購読のご案内

機関紙「手をつなぐ」購読ご希望の皆さまは本会事務局までご連絡ください。

○年間購読料

—□ 3,900円(送料別)

※送料は受け取り先や口数によって異なりますので、事務局までお問い合わせください。



知的障がい、発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

■ ぜんち共済株式会社  
関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階  
[2020年1月作成 19-TC06633]

0120-322-150  
平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社グッド・サポート TEL:092-263-6771 FAX:092-263-6772

頭がいのある方とご家族へ

■ ぜんちの  
あんしん保険  
最高日額1万円  
個人賠償責任補償  
弁護士費用補償  
安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

■ ぜんちの  
こども傷害保険  
入院・通院を日額保障  
個人賠償責任補償  
トラブルに巻き込まれた際、  
弁護士がサポート